



発行：救いの光教団  
編集：神成編集室  
東京都世田谷区北沢  
(☎155-0031) 2-22-10  
電話 代表 03(3413)0123  
http://sukui.jp  
毎月1回1日発行  
購読料 1部80円  
(会員の購読料は会費を含む)

2023  
No.611  
7月号

— 明るいい心 —

天国は美の世界なり住む人の

心も共に美しかるなり

ほのぼのと 東の空明るみて

黎明告ぐる家鶏鳥の声

美はしき 花に憧る人こそは

花にも似たる心もつなり

福寿無量

「福寿無量」解説

「大慈大悲の観世音、福寿海無量の誓いのままに…」という言葉もあるように、観音の福徳のきわまりないことを讃嘆した言葉であって、福は物、寿は寿命、無量ははかり知れぬほどたくさんということである。

(祝詞その奥をひもとくより)

◎教団方針

ひろげよう浄霊の輪

ひろげよう仲間の輪

築き上げよう愛と活気あふれる教団を

神言霊

感じの良い人

およそ感じが良いという言葉程、感じの良い響きを与えるものはあるまい。処がよく考えてみると、処世上これが案外重要である事である。それは個人の運命はもとより、社会上至大な関係があるのである。例えば誰しも感じのいい人に接すると、その人も感じが良くなり、次から次へと拡がってゆくとしたら、心地よい社会が出来るのは勿論である。故に忌むべき問題、特に争いは減ると共に犯罪も減るから、精神的天国が生まれる訳である。然もこの事たるや、金は一文も要らず、手数もかからず、その場からでも出来るのであるから、こんな結構な話はあるまい。というたと至極簡単に思えるが、事実はそのような旨い訳にはゆかないのは誰も知るであろう。

というの、これは外形的御体裁では駄目だからで、どうしても心からの誠が沁み出るので、その人の心の持ち方次第である。つまり利他愛の精神が根本である。これに就いて私の事を少し書いてみるが、私は若い頃から自分で言うのも可笑しいが、どこへ行っても人から憎まれたり、恨まれたりする事は余りない。親しまれ慕われる事の方が多いのである。そこでその理由を考えてみるとこれだと思ふ一事がある。それは何かというと、私は何事でも自分の利益や自分の満足は後廻しにして、人が満足し喜ぶ事にのみ心を置いていく。といつても、別段道徳とか信仰上からではなく、自然にそうなる、つまり私の性格であろう。換言すれば一種の道楽でもある。そんな訳で得な性分だとよく人から言われたものだが、全くそうかも知れない。然も宗教家になつてから一層増したのは勿論である。

この私の性格が地上天国や美術館を造るたすけともなつたのであるから、こういう性格を神が与えたものであろう。例えば、結構な美術品や絶佳な風景を見ると、自分一人楽しむのは張合もないし、気も咎めるので、一人でも多くの人に見せ、楽しませたいと思う心が湧いて来る。という具合で、私は自分だけでなく、人に楽しませ喜ぶのを、自分も楽しみ喜ぶという事が一番満足なのである。

(昭和二十九年四月二十一日)

◎方針のみちしるべ

- (一) みつめなおそう明主様の心
- (二) つらぬきとおそう明主様の心
- (三) 教団綱領を尊び実践する
- (四) 信仰継承は家族と家庭円満から

# 会長訓「お任せするとは」



会長 大沼 泰彦

先月の会長訓で異常気象の話を行いました。今年、東海までの梅雨入りは例年になく早い梅雨入りとなりました。過ごしにくい季節になりましたが、教団圃場では稲がすくすく育っているようです。

今月賜りました神言霊「感じの良い人」の中に、明主様御自身の御性格が述べられています。「明主様を求めるといふことは、神言霊を拝読させていただいただけでは得られないものだと思います。明主様がなされていたことに倣って、自ら実践してこそ明主様の御心に近づけるのではないのでしょうか。六月天啓祭をお仕えさせていただきました。今年も後期に入りました。立春に布教拠点ごとに誓願いたしました光導実践目標の状況はいかがでしょうか。信徒の皆様お一人一人が少しずつ、一つずつ実践を許されて達成されるものです。明主様はこんなことを

仰っております。

「教師や、信者の間に、御用にあたって、いろいろな心配ごとや、気にかかるとは神様にお任せすれば自然に解決するという神言霊がある。だから自分はなんでも神様にお任せしているから、よいというような考えや行ないがあります。これは、大抵の場合、神様にお任せするというより、むしろ、神様に責任を負わせるという、つまり、なんでも神様にダッコしすぎるといふ、きらいがあります。大いに努力して、神様にできるだけお手数をかけないようにするのが、本当であるが、そういうことなく、神様の御用をあたえられていながら、それができなくても、これは神様が許しているのだ。必要があれば神様が叶えて下さるといふような、赤ん坊が親に養育されるようななまぬるい考えが、教師、信者というのは、起きやすいのです。そこにむずかしい点があると、また、いうにいわれない面白さがあるのです。そこで、人力自力と、他力の線をうまくやってゆくという、それが一つの覚りであり、修業です。」と頂いています。気温も高い時期で、行動範囲も限られていると思いますが、今一度目標を再確認されて、明主様を見習ってできることを行動に移し、成果を頂けるようお互い精進してまいります。

# 光守様 塩竈教会感謝祭御訪問同行記 (令和五年五月二十一日)



光守様と庄内とめさん合わせて186歳のツーショット

ながら美術大学の学園祭に訪れた気分になさせてくれます。特に木皿さんの書、武山さんの写真、庄内さんの絵画、鈴木さんの人形は、全国の信徒さんにも直接鑑賞していただきたい程の逸品ばかり。

大接近。整理券が必要な程、光守様大忙し、大盛況。名残惜しい気持ちのまま、東京での再会を約束し皆様に見送られ塩竈を出発、暫らくすると左手に仙台平野の海岸線が見え、光守様はまた海に向けてのお浄めのご浄霊を始められました。朝よりも和らでいるお姿が印象的でした。

早朝の常磐自動車道を北に、いくつものトンネルをぬけ、童謡の『汽車』の舞台にもなった広野原を過ぎたあたりから放射線量を示す電光掲示板の数値が少しずつ大きくなりまた小さくなる頃には、ニュース画像でくり返し観た仙台平野が広がる。

「まさに『塩釜に救いの光教団の芸術館あり』ですね」と光守様がおっしゃる。佐藤教会長ファミリー総出で進行する飾り気の無い穏やかで優しさに溢れた祭典の後は、話の尽きる事がない楽しい食事会。小島副

塩竈教会の皆様、本当にありがとうございました。境

助手席では光守様が海に向けてお清めのご浄霊を始めてから四十〜五十分程厳粛な時間を過ごした後、仙台市街地から三陸自動車道に入るとすぐに、三陸を代表する漁港の町、塩竈に到着。予定より早く着きましたので漁港の市場で予定外の朝食、光守様は大好物のマグロ丼にイワシのつみれ汁。潮風薫る若葉の季節の中で幸せな一日の始まりとなりました。

塩竈教会は漁港から車で五分程の高台に在り、教会のエントランスに入るとすぐ飛び込む芸術作品の数々は、皆さんもすぐさま、光守様に



塩竈協会信徒の皆様と



寺島 政子

〔長野教会〕

感謝奉告

最近、私が体験した事柄の経緯と薬毒の恐ろしさを皆さんに知っていただきたいと思い御奉告させていただきます。

私は、背中が曲がってしまったため寝起きの際、ひどい痛みを感じるようになってきましたので整形外科に行つて診て頂くことにしました。その結果、治らないけど痛み止めの薬を一日朝夕二回ずつ飲むようにと十四日分出してくれました。早く痛みが取れるように願いつついわれた通りに薬を飲んでおりましたが、五、六日過ぎた頃から腰の辺りが痒くなり、次第にひどくなってきました。今度は皮膚科へ行き診てもらい、かゆみ止めの薬と飲み薬、塗り薬を処方されました。薬を付けてもかゆみは酷くなる一方でした。そんな中、夜中に目が覚めてふと気持ち『浄霊』の本を手に取り、痒みの原因を読むと症状が同じだったの

で、翌日から薬を止めて、おくすり手帳を開いて確認していたところ以前医者から『カロナル』、『アセトアミノフェン』の入った薬には注意するようにと名前の書いたメモが入っており、この成分の入った薬を飲んだ為に湿疹が出てきたことに気付きました。しかし、すでに十日分も飲んでいたので日に日に湿疹がひどくなり全身に広がり、痒くて夜中に目が覚めて眠れない日が続いております。あらためて薬毒

の恐ろしさを思い知らされました。

今回、明主様の教えに気づかせていただいた事で薬を全部飲まずに止めることが出来た事は何よりの御守護と感じております。

これからも明主様の教えと浄霊に感謝して健康で老いていきたいと思ひます。

大光明様、明主様、誠にありがとうございました。

光守様、日々のお祈りありがとうございます。

会長先生、日々のお祈りありがとうございます。

担当教師コメント

山 奇 明 憲

今回の奉告は、ご自身が身をもつて体験された薬毒の恐ろしさを皆さんにも知っていただきたいという思いでお話されました。神言霊『浄霊』の冊子には様々な浄化の症状に対する急所が書かれております。寺島さんがこの『浄霊』を手にとられたという事は常に届くところにおいてあるからではないかと思ひます。そして自身の症状と同じところを拝読されて、薬を止めたという事も明主様の教えを素直に受け止めたからだと思ひます。今ではこの時の症状もなく元気に教会に参拝されています。祭典日には同じ地域に住む助師の宇佐美さんが車で迎えに行き、寺島さんの妹さんにあたる三沢さんを連れて教会にみえます。いつまでも元気に過ごしていただきたいと願っております。

新田博士講演シリーズ第二回

医学からみた薬の毒性と副作用

プレイバック〔神成〕 昭和五十一年二月号より〔抜粋〕

自然治癒力のつづき

昔やっつて一度かたまつていた結核がステロイドを使うようになってまた再発しどんどん悪くなつてくる、そのために死んでしまうこともあるのです。毒作用のうんと少ない薬を使つていけば、痛みはそんなにとれないけれども、まだまだ長生きできたものを、そういうものを使つたがために、二次的感染症で肺炎とか結核で死んでしまう、ということがよくあるのです。

「医者がそういうことを知つていながら、そんなバカなことをやるはずがないじゃないか」とお考えかと思ひますけれどそういう例がいくつもあつたのです。

また、前号の精神安定剤、よくトランキライザーという名で代表されていきますが、これも徐々に身体が全体的に虫ばまれてまいります。それと同時に長期に使いますと、精神症状が出てまいりまして、いつてみれば精神病みたいなもの、人によつてはイライラし、あるいは、何かする気力を失なつてしまふ、そういう症状が出てまいります。それに気付いた時にはそういう状態になつておりますので、手おくれになつてしまひます。

つまり先ほどのガンの薬のように割に早く毒作用の出るものは早く気づくから早くやめてしまふ。しかし徐々にしか副作用の出ないものは今の例でわかるように、副作用が出ないために気がついた時には手おくれというふうな困つたことが出てくるわけです。

その他、具体的にあげていきますと、例えば睡眠薬ですね、これなんか、例のサリドマイド（イソミン）という名前が知られた睡眠薬などは妊娠の婦人が服用すると、アザラシのような腕の短い奇形の子が生まれたりいたします。これは、中止されましたが、そうでなくて昔から使われていたような睡眠薬でも、使つていながら、だんだんきかなくなつてしまひ、慣性がついでしまふ、それがなくて

は夜も眠れなくなつてしまふ。いわゆる薬に依存する、依存性というものがついでしまふわけです。そればかりではなく、身体になじまないものが身体に入つてくると、身体はそれに対して当然反応いたします。つまりそれに対して身体が防御するわけです。その防御ができる限界をこえると、今度は、身体の方がやられてしまふわけです。防衛する限界といひましても、その限界に達するまでも、体の方が相当薬によつて痛めつけられるわけです。そういう場合、主としてやられますのは、肝臓とか、心臓とかか身体にとつては大切な臓器が先にやられるのです。

肝臓の働き

ことに肝臓というのは、身体の中で非常に大きな部分を占めておりまして、いろんな機能をもつており、その中の一つの大きな役割として、外から入つてくる毒物を解毒する役を持っています。これは、薬だけではありません。食物の中にも毒物といひていいようなものが入つて

睡眠薬

おります。あるいは、身体の中で消化不良を起こして、自家中毒的な毒物が出たりすることがあります。そういう毒物が、身体に滞つていて、害になるので、自然にそれを解毒しようといふ。そういう機能が備わつております。それが肝臓で行なわれていくわけです。

とは全然ちがうのです。脳の中には、医学的にいふと、目を覚ましてゐるための覚醒中枢と、眠るための睡眠中枢という二つの中枢があります。そして、普通の正常な睡眠の場合には、睡眠中枢から「眠れ」という指令がでる。睡眠中枢が興奮するのです。興奮して眠るといふのはおかしく聞こえますが、睡眠中枢の機能がたかまつて、自然の眠りになるわけです。逆に覚醒中枢が興奮して「起きろ」といふ命令がでると、目がさめてゐる状態になります。目がさめて身心が活動してゐる時には、いろいろなエネルギーを消費するわけですが、自然の睡眠では、睡眠中にそれが回復される方向に向ひます。睡眠薬の場合には、そうではなくて、むしろ覚醒中枢の麻痺なんです。覚醒中枢が薬のために麻痺してしまふ、そのために、外見上、眠つてしまふんです。外見上は眠つてゐるけれども、起きてゐるときにおなじように、体のエネルギーは、消費されて、これが回復していく方向にはむかわない。むしろ消費されていく方向にむかうのです。ですから、外見上はおなじようですけれども、自然の眠りの場合は体は休まり、エネルギーも回復しますが、睡眠薬を使った時の眠りは、眠つていな

とポケてきて、感情もよくなつてくる、というような現象が生じます。また睡眠薬をのむと、不眠症の人には、よく眠られるといふのでよろこびますが、これは眠れたという安心感にあたえる意味で、精神的にはよろしいんですが、医学的といひますか、肉体的に見た場合、普通の睡眠

とポケてきて、感情もよくなつてくる、というような現象が生じます。また睡眠薬をのむと、不眠症の人には、よく眠られるといふのでよろこびますが、これは眠れたという安心感にあたえる意味で、精神的にはよろしいんですが、医学的といひますか、肉体的に見た場合、普通の睡眠

# 神歌の力

神から『神成』紙のはじめの上段に神歌を載せなさいと頂きました。特に六月の三首は、私、深く深く心を打たれましたので「光守の思い」として載せて頂きました。

それぞれの神歌の背後には、私達のはかりがたい深遠な御神意がこめられております。皆様と共に、深く広く考究して学んでまいりましょう。

「円満に ものを治むる人にして 諸々の人慕いくるなり」

いろいろな物事を解決していくには、いろいろな方法がございましょうが、こちらにもよく、相手にもいいように、まろく穏やかに解決することが最上でございます。そのようなことが出来る人になる秘訣は、自分というものをなくすこととでございます。自分というものをなくして、人のために考える人にして、はじめて公平無私、何事も円満に処理がで

# 光守の思い

き、多くの人々から信頼されるのです。とおさとしを頂いております。

「如何ならむ 事も堪えてさりげなく 微笑みあしらう人となれかし」

人間の世界は、まことに思うとおりにならないことの連続でございます。肚のたつことやがっかりすることや、泣きたくなることなど実にいろいろな出来事に出会います。

そのような時、怒ったり、頭に來たり、わめいたり、沈み込んだりなどせず、平然として何事もなかったかのように、笑ってにこにここと笑顔を浮かべ済ませる人になりなさいと、仰せられておられます。なかなかできないことでしょうが、これは神様に対する絶対帰依の強い信仰があつて、はじめて出来ることとご



光守様と神成郷の芍薬

ごいましょう。

「さもしきは 己が手柄を諸人に 示さむとする心にぞある」

自分の手柄を多くの人々に誇って、私は偉いんだ、わたくしがしたんだ、これ見よがしにするぐらい、見苦しいことば、ごいけません。しかし、そうと知りつつ、己の手柄を人に知らせたくないので、人間の陥りやすいところでございます。この原因は、まったく神様がすべてをお見とおしになっていることを知らないからでありましょう。そういう情けない、あさましい心を起こさないように努力をして欲しい。人は神様を心の中に仰ぎ、陰徳をよるこびとして、いかねばならないのではないのでしょうか。

- ① 謙虚であらねばならない
- ② 何事にも感謝の心を持つ
- ③ みんな幸せになってほしいと願う心
- ④ 何があつても笑美の心と笑美の顔 努めてまいります。

## 岡田茂吉の自然農法 稲育苗と田植え



………  
く続きました。芽出し期間の苗にも影響したのか、芽出し後から育苗前に苗を日光に慣らせる「緑化作業」も、今までは

前回の稲育苗について、詳しくお伝えします。モミ播き終了後、五月に入ると例年よりも暑い日が多

一日で完了したのが、今年はその上に時間が掛かりました。原因は分からないのですが、その間育苗に失敗しな

苗は根が一番大切ですので、とても良質な苗に育ちました。

五月に入り水田に水入れを行い、その後トラクターによる代掻きを二回行いました。雨天によりタイミンクを計るのが難しかったのですが、何とか田植え前までに作業を完了しました。



田植え前準備作業の様子



田植え機による田植えの様子

# トピックス

## 第二回目 鋸山登山

五月二十五日に六名の有志の皆さんと共に二回目の鋸山登山に行ってきました。午前中雲空でしたが、参加者の清らかな心が通じて、昼頃には晴れて良い天気となりました。

この回は前回同様のコースの他、初めて千五百羅漢道を巡り、その無数の石仏に圧倒されました。今回は体力に自信のある方ばかりで、急な階段も何のその、最後までハイペースで散策しました。

この日は小・中学校、その他クラブ会員、外国人グループなど何団体も来ていて、特に大仏広場は多くの人で賑わっていました。目的の日本寺本堂跡地での参拝を厳かに済ませ、皆様とても満足した様子で無事帰路に着きました。



日本寺本堂跡地に全員で御参拝



鋸山見晴台より浦賀水道をのぞみながらみなさんと提灯撮影

孟蘭盆会 祖霊様御供養のお知らせ  
皆様に御縁ある御霊様を真心こめて御供養させていただきます。

### 『慰霊祭』

令和五年七月十三日(木) 午前十時

### 『慰霊祭・創祖十六年祭』

令和五年八月十三日(日) 午前十時

東京本部 祖霊殿